
計算仮面男

蒼咲 秀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

計算仮面男

【Nコード】

N8042B

【作者名】

蒼咲 秀

【あらすじ】

テスト用紙が特別な物になりました。大好きな彼は、今日までと、今日からの立場が180度変わりました。あなたはこんな時間をどう感じますか？

(前書き)

蒼咲はこういう男の子が大好きです……

この続きを書きたくなるくらい好きです……

未熟者はいつまでたっても変わりませんが、

最後までお付き合いして頂けると、嬉しい限りでございます。

何でこうなるのよ。

今、教室には私と

大好きな人と

目の前には腕を組んで寝てる教師。

机の上には、この前受けたテスト用紙。

名前の横には、『追試』と書いてある。

隣の彼は

学年で一番頭が良い。

何でいるの？

とか思う所だが、

さっき教室に入ってくるなり、

「僕も受けます。」

と言って勝手にやっている。

用紙は、もう一人受ける人の追試を使ってる。

この時間になるともう来ない。と断言した先生。

しかし。

頭の良い奴が考える事はわからない。

そんな彼が好きな私は重症なんだろうか。

追試なんて、

「ちきしょー。」

とか、

「めんどーい。」

なんて思っていたけど、隣の彼のお陰で
今、立ち上がって彼の周りをヒゲダンスできるくらい浮かれている。

まあ、この状態に満足しているのだ。

「ねえ。」

「はい？」

うわっ。話しかけられた。

「終わったんだけどどうすればいいの？」
え！？

「もう終わったの？」

私まだ6問目。

ヒゲダンスなんか言ってるからだ。

「うん。」

涼しい顔してさらりと言う。

「えっと…じゃあ先生に言ったら？」

『待ってて。』が言えない弱い自分。

「井上は？」

「え？」

「終わった？」

「あっ…ううん。まだ。」

恥ずかしい！まだ6問目ですなんて言えない！

「じゃあ待ってる」え！？

嬉しいけど待たれると焦る！

「いいよ！まだ時間かかると思うし。」

「いいから。」

うわっ。

緊張して解いてる私。

数学にドキドキしてる。

違うか。

でも、心臓のせいで手が震える。

「先生終わりました。」

あれから。

頑張りました、私。

先生を起こすと、

「高樹、採点しといて。」

と、解答を渡す。

それなら、もっと綺麗な字で書けば良かった…。

「井上、交換しよ。」

彼はそう言って、私を取り上げ、彼の解答を私に寄越す。

彼はさらさらチェックをつける。

私も彼の解答に丸をつけようと、用紙を見ると

「えっ？」

「どうした。」

先生が聞いてくる。

「い、いえ」

言えないよ、こんなの。

隣の彼は相変わらず手を休めず丸を付けている。

彼の解答は真っ白で、一番下に

『好きです』

と書いてあった。

なる程。

だからあんなに速かったんだ。

何て冷静に考えたりなんかしちゃったりして。

私は、下に小さく返事を書く。

さっき以上に震える字で、

精一杯の気持ちを込めて。

いつの間にか終わっていた彼に渡すと、

ニツコリ笑い、
「帰ろう」と言って、私の手を引き教室を出た。

次の日。

何故か私達の事が既に噂になっていた。

原因は、昨日のあの恥ずかしいテスト用紙を高樹君が置き忘れていたらしい。

そうして、その後時間を間違えて来たもう一人の追試の人がやって来て、今朝みんなに喋ったのだ。

高樹君は意外とおっちょこちょいなのかな？
と思って、言ってみたら

「俺が忘れる訳ないだろ。」

と、ぼそっと私に言った。

みなさん。

彼は確信犯です。

(後書き)

最後までお付き合い頂き、有難うございました。

他にも未熟者ながらも話を作っていますので、

是非そちらをご覧頂けたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8042b/>

計算仮面男

2010年12月7日03時03分発行